

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和3年4月1日 第9号
奈良県下市町教育委員会
教育長 小谷 隆男 発行

4月の風。新しい年度が始まります。



★ お別れの3月を乗り越えて、出会いの4月がやってきました。新しい年度の始まりです。旧年度のことはもう過去のこと。全てを一新して新しい年度をスタートさせましょう。**コロナ禍もきっといつかは過去のもの**になるはずですよ。今を前向きに進んでいきましょう。

★ この4月から**下市小は移転します。変化はチャンスと考え**、先生方の情熱で素晴らしい2年間にします。そして、次には中学校と一体となった義務教育学校「下市あきつ学園」（仮称）として戻ってきます。

★ 今年度こそ「**町民体育祭**」や「**町展**」「**芸能発表大会**」などを開催したいものです。体育・文化的行事は人生の潤いです。豊かで平穏な日常を必ず取り戻しましょう。

< お知らせ > 校舎建設情報

- 旧下市小校舎の解体 令和3年8月～(約4ヶ月)
- 新校舎の建設 令和3年12月～(約1年)
- ※ 周辺住民の皆様のご理解に感謝いたします。
- ※ 旧校舎の見学希望は教育委員会で随時受け付けます。

「バス通学」は楽だけど… <小学生9割超がバス通学に>

学校の移転に伴って、町内**ほとんどの小学生がバス通学**になります。少し心配なのが「**バス通学による子どもの体力低下**」です。文部科学省の「**子どもの身体活動ガイドライン**」によると、子どもは健康上「**1日60分以上の身体活動が必要**」とされていますが、**バス通学の児童は他の児童に比べて、それを満たさないケースが増える**と指摘されています。

ただ、バスの利用は仕方のないことですので、その分、休み時間など意識して身体を動かすようにさせたいと思います。ご家庭や地域でも、できるだけ屋外で遊ばせてください。

2年後の新学校は、R2年度までの通学方法に戻します。



ありがとう!お元気で

< 中学校の校長先生 >

はじめまして!よろしく

上東 祥浩 前校長先生

- 平成29年度から令和2年度まで、下市中校長として勤務。
- 教諭時代を含めると27年間お世話になりました。
- 定年後、この4月から県立教育研究所で勤務されます。



くすのき
楠

としお
利夫

新校長先生

- 県教育委員会教職員課から転勤して来られました。51歳。
- 中学校英語教諭として香芝市などで勤務した後、教頭を経て教職員課へ。
- 元高校球児の情熱的で優しい先生。



ありがとう!お元気で

<小学校の教頭先生>

はじめまして!よろしく

西山 武志 前教頭先生

- 令和元年度から令和2年度まで、下市小教頭として勤務。
- 教諭時代を含めると15年間お世話になりました。
- この4月から県教育委員会教職員課で勤務されます。



柳井 孝文 新教頭先生

- 県立教育研究所学習指導係から来られました。50歳。
- 吉野郡の出身で、大淀町や川上村小学校教諭を経て教育研究所へ勤務。
- Mr.ピアノマン。音楽とサッカーが得意。



新しい学校の制服は!?

制服への懐かしい思い出は誰しも胸の中にあるものです。例えば、卒業式にボタンをせがんだり、せがまれたり、

期待だけで終わったり…ああ淡い青春の1コマです。…ところで、制服ってなぜあるのでしょうか。

奈良県内には、自由服で登校している小学校は少なくなく、中学校でも10校近くあります。生徒会の議論によって制服が廃止された中学校もあります。自由服でも特に問題なく学習できているようです。ただ、これまでの伝統や思い出も、それぞれの地域にはあるように思います。

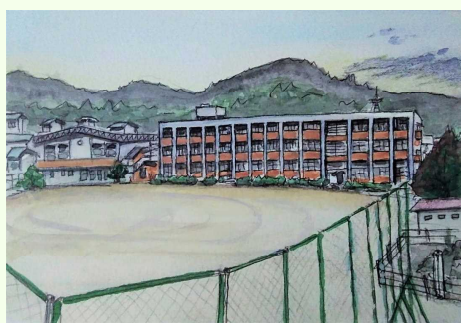
さて、下市の新しい学校の制服をどうするか。今月は「制服等検討委員会」を立ち上げます。

よく聞く「制服擁護派」の意見

- 毎日、朝起きて、何を着るか迷わなくていい。
- 派手な格好になり、学習に身が入らない。
- 自由服だと、他の人が何を着ているか気になる。
- たくさん服をもっている人と、そうでない人との差が出て、各家庭の経済的な格差が見えてしまう。
- 制服があることで、同じ学校という統一感や連帯感につながる。学校の誇りや伝統が制服にはある。

よく聞く「制服自由化派」の意見

- TPOに応じた服を自分で選んで着ることも大切。
- 何を着るのかは個人の自由だと思う。
- 勉強に服装は関係がない。塾ではみんな私服。
- 数万円の制服代で、量販店で好きな通学用の服が数着買える。制服は3年しか着られない。
- 皆同じにすることに違和感がある。制服はスカートとズボンがあり、LGBTへの配慮ができてにくい。



「あの校舎は今」⑧ 旧下市小学校舎

本日4月1日から、この校舎は「旧校舎」ととなりました。そして、今夏には解体されることになります。下市小学校は明治6年の有隣舎(願行寺内)以来146年の歴史があります。戦後下市に存在した阿知賀小、秋野小、善城小、才谷小、広橋小、丹生小、貝原小の7小を統合という形で受け入れてきました。

この校舎は昭和37年に建てられ、58年間の現役生活でした。長い間お世話になった校舎なので、町民にとっては数多くの思い出があることでしょう。今年度下市小は移転し、あと2年間は存続しますが、その歴史と伝統は「下市あきつ学園(仮称)」がしっかりと受け継いでいきます。

先日の朝、バスから降りてくる小学生を出迎えていると、何かいつもと違う印象を受けました。自由服での登校だったのです。「カジュアル・ウィーク」として、月に1週間、自由服登校の日を設定しているそうです。制服や校則を考えるいい機会になると思います。学校にも「ダイバーシティ(多様性)」尊重の波が届きつつあるようです。

ご意見・お問い合わせは…

下市町教育委員会事務局

☎ 0747-52-1711

FAX 0747-52-5159

✉ kyoit@town.shimoichi.nara.jp